

市制施行後80周年を迎え、藤沢駅周辺のまちなみも大きく変化してきました。その契機となった駅の開業以降、藤沢駅周辺がどのように変わっていったか、まちづくりの変遷をまとめました。

### 1. 鉄道による発展◆(明治20年～)

複数の鉄道の開業を契機として、住宅の増加や江の島などへのアクセスが向上し、駅周辺の市街化が急速に進みました。

### 2. 市制の施行と都市計画の策定◆(昭和15年～)



昭和15年に市制が施行されました。戦後、首都圏への急速な人口集中に対応するため、昭和32年にまちづくりの基盤となる藤沢市総合都市計画を策定しました。

### 3. 藤沢市総合都市計画に基づくまちづくり(昭和32年～)

昭和32年に策定した藤沢市総合都市計画に基づき、駅周辺のまちづくりが進められました。

南口は、20年以上かけて土地区画整理を行い、駅前広場が整備され、その周辺には商業施設等が立地し、またその近くには住宅や公共施設等が建設され、現在のまちなみが形成されました。

北口は、都市施設の整備と市民生活の拠点整備を進めるため、再開発を行い、商業施設とともに建築物を結ぶデッキや人々が憩える広場が完成しました。

また、昭和55年には駅舎が橋上化され、駅の南北が一体となり、現在の基盤となる駅前空間が形成されました。

和暦	市内における主な出来事
昭和	15 市制施行
	23 藤沢市立図書館 開館
	24 湘南高校 甲子園優勝
	26 旧江の島展望灯台 完成
	29 江ノ島水族館 開園
	30 秩父宮記念体育館 開館
	36 大規模工場誘致・操業
	38 藤沢バイパス 開通
	39 東京オリンピックヨット競技開催(江の島沖)
	43 藤沢市民会館 開館
	46 藤沢市民病院 開院
	49 第1回市民まつり 開催 江ノ電藤沢駅 移転
	50 湘南ライフタウン分譲開始
	55 藤沢駅橋上駅舎完成
平成	59 秋葉台文化体育館 開館
	61 総合市民図書館 開設
	63 新湘南バイパス 開通
	元 湘南台文化センター 開設
	8 藤沢エフエム放送 開局
	15 江の島新展望灯台完成、サムエルコッキング苑開園
21 湘南C-Xまちびらき	
26 「Fujisawaサステイナブル・スマートタウン」オープン	
30 本庁舎供用 開始	

新しい夢と幸せをあなたに  
藤沢駅前 サイカヤ  
**4月28日10時開店**  
(全店開店記念大売出し)

粗品進呈

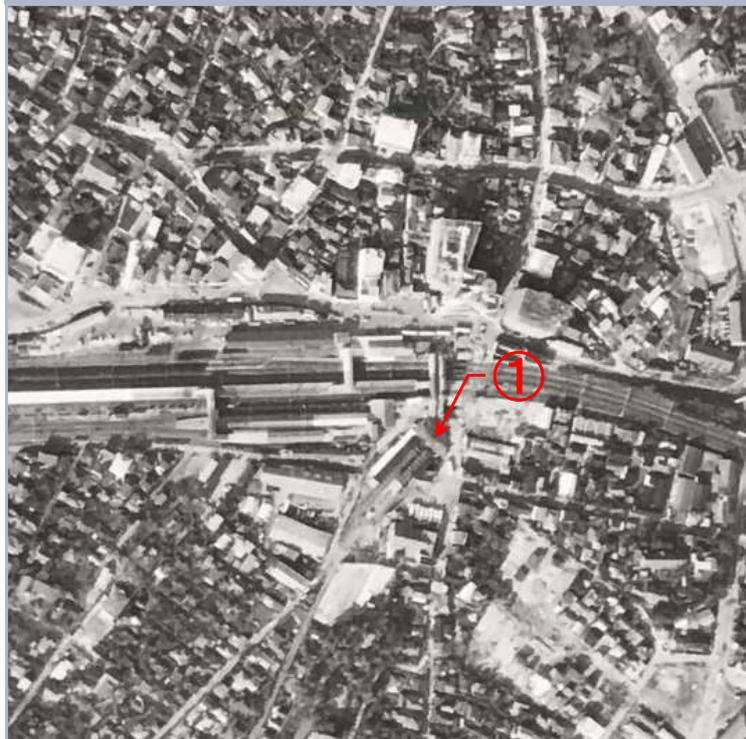
●期間中(4月28日～5月5日) 本状封筒と引換えに5階受付にてお受取り下さいませ  
●誠に勝手ながらご来店ごし名様1点限りをお願いいたします

さいか屋 藤沢駅前  
4月29日(木)祝は営業いたします

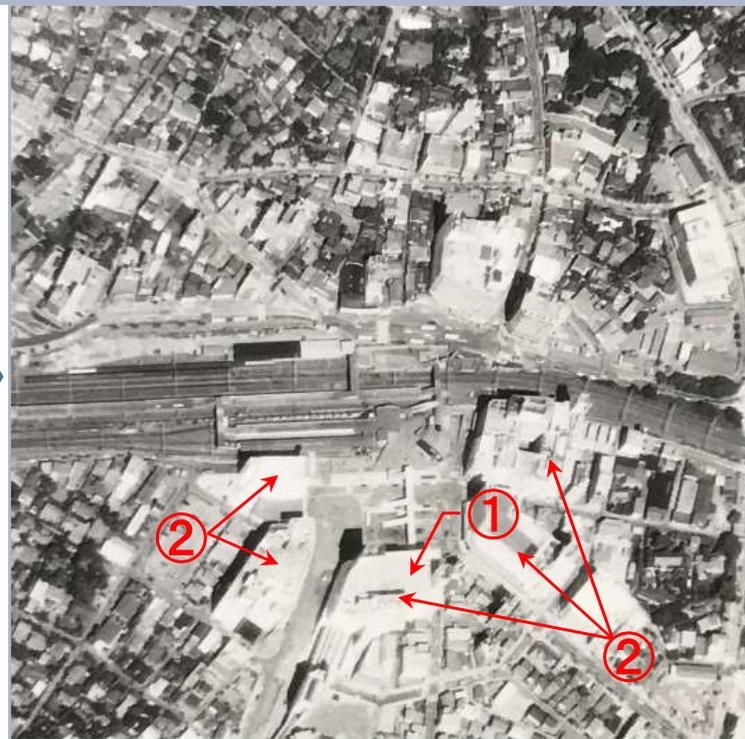
昭和40年 藤沢市文書館所蔵資料



～まちの移り変わりを航空写真で見よう～



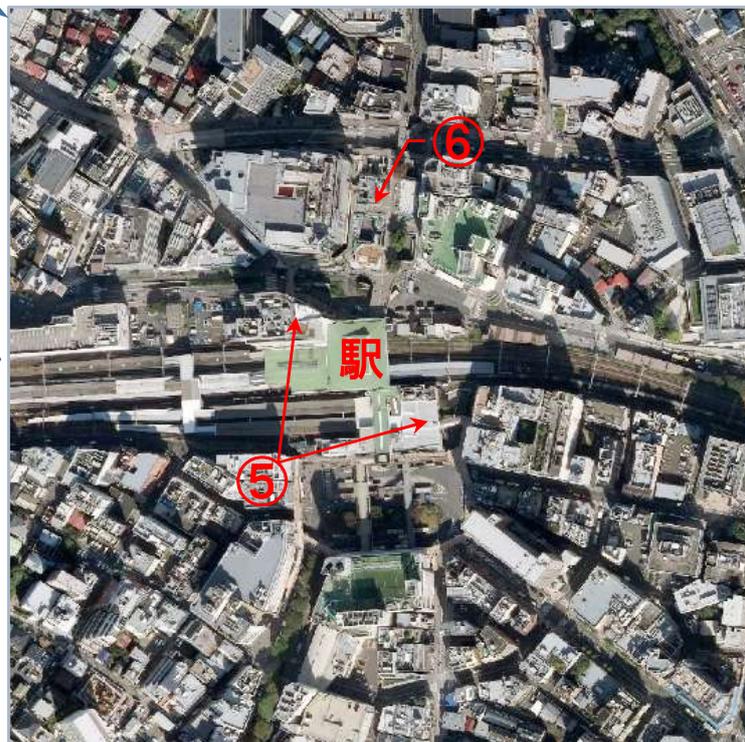
昭和39年



昭和50年



昭和57年



令和元年

それぞれの年代で、どのように移り変わってきたかが、写真からわかります。

◆昭和39年と昭和50年の比較

- ①: 隣接していた駅舎(JR、小田急、江ノ電)のうち、江ノ電の駅舎が現在のように南側へ離れました。
- ②: 駅前に複数の商業・業務ビルが建設されました。

◆昭和50年と昭和57年の比較

- ③: 北口再開発事業により、公共施設(駅前広場やデッキ等)や商業施設が建設されました。
- ④: 駅舎が橋上化され、南北の自由通路が完成しました。

◆昭和57年と令和元年の比較

- ⑤: 駅に隣接した商業施設が複数、建設されました。
- ⑥: 北口駅前のデッキがリニューアルされました。(写真は工事期間中で12月に完了)

# ～「今」と「昔」を見比べてみよう～

## 南口



昭和46年

文書館提供



現在

昭和49年に江ノ電の駅舎が江ノ電第一ビル(現ODAKYU湘南GATE)に移設されるまで、国鉄(現JR)、小田急、江ノ電の駅舎は隣接していました。現在、江ノ電の駅舎の跡地は商業施設となっています。その一方で、地下通路へつながる階段(左写真の右下)は、現在も残っています。

## 南口本通り



昭和46年

文書館提供



昭和38年文書館提供



現在

昭和40年頃の駅周辺では、自動車の交通量が増加するとともに、南口と北口を渡るための踏切には人があふれ、駅前には歩行者と自動車が錯綜していました。現在では、駅前広場にデッキが架けられるとともに、線路下に地下通路が整備されたことで、安全性と利便性が向上しました。

## 銀座通り



昭和30年代

文書館提供

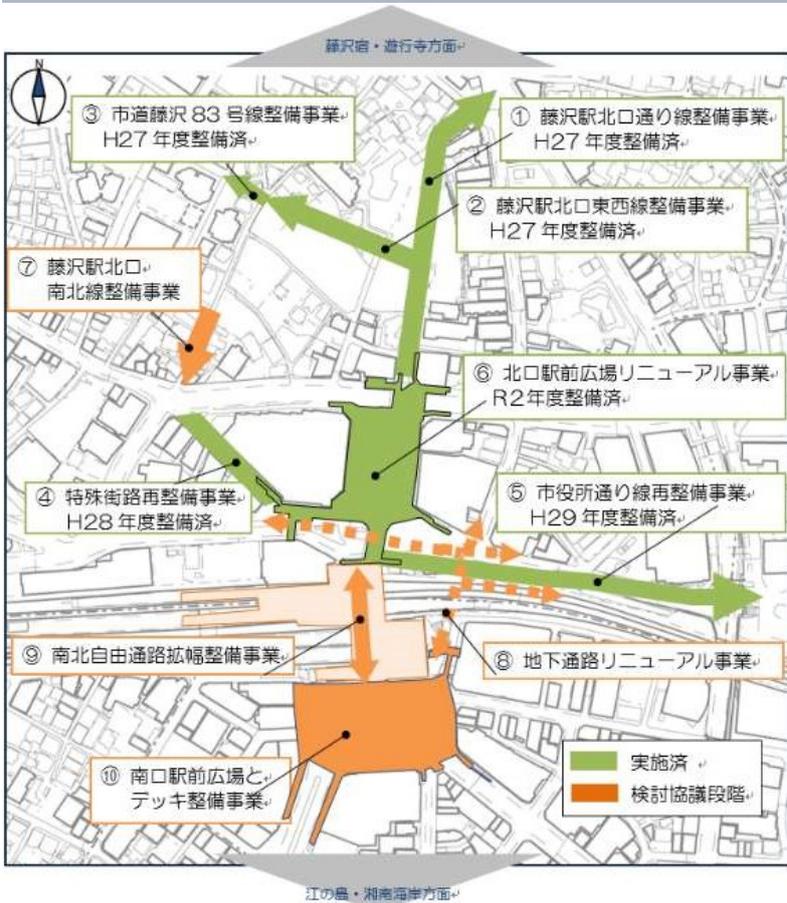


現在

昭和30年代の銀座通りには、市民に親しまれた「藤まつり」が行われるなど、市の代表的な商店街である藤沢銀座土曜会商店街がありました。

平成元年には、「緑と太陽と石畳の街」をキャッチフレーズに、歩道のモール化を実施し、街路に植栽やモニュメント等を設置し、美しい街路となりました。今もそれらの理念を継承し、安全で快適な歩行者空間を創出するとともに、にぎわいのある魅力的な街並みを形成しています。

# ～近年の取組～



藤沢駅周辺地区の活性化に向けて、「藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画」(平成24年3月)を策定し、その実現に向け、先導的な役割を果たすべく、様々な整備事業を展開しています。(現在の状況は、左図のとおりです。)

現在は、駅南北自由通路、地下通路、南口駅前広場等のリニューアル、広場におけるエリアマネジメント導入の実現に向けて取り組んでいます。なお、近年の取組の詳細については、過去のまちづくりニュースを参照ください。

(URL:<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/fujisawa-eki/fujisawa-ekinews.html>)



サンパレット広場



北口通り線



イベント実施(サンパレット)



北口交通広場

写真提供(一部): 藤沢市文書館 「藤沢市文書館の許可なく、転載・転用および複写することを禁止します。」  
今後も引き続き事業の進捗に合わせ、まちづくりニュースを発行していきます。



藤沢市 都市整備部 藤沢駅周辺地区整備担当

TEL 0466-50-3552(内線4332)

HP <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/fujisawa-eki/index.html>